

第3次 しろい健康プラン

概要版

【令和4年度～8年度】

自分らしく元気に みんなで力を合わせる健康づくり

市民主体による健康づくりの実践と併せ、市民、地域、行政がみんなの力を生かし、誰もが健康づくりに取り組みやすい環境を整えることをめざして、『自分らしく元気に みんなで力を合わせる健康づくり』を基本方針に掲げます。



※「自殺対策計画」は、ほかの3計画と策定時期が異なるため(平成31年3月策定)、別冊で推進しています。

到達
目標

健康寿命を延ばす

白井市民の
健康寿命

現状値
平成29年10月1日時点

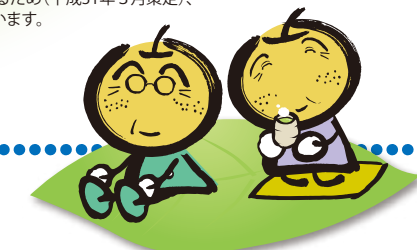
男性 80.7歳

女性 83.8歳

目標値
令和5年10月1日現在

男性 81.3歳

女性 84.4歳



当市の健康寿命は、健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班による「健康寿命の算定方法の指針」をもとに、要介護2以上の人を日常生活に制限があるとして算出しました。

令和3年6月
白井市

健康増進計画

施策の
方向性

1

生活習慣の改善

具体的な取り組み

①望ましい生活習慣獲得のための情報提供及び行動化を促す取り組みの強化

主な事業

生活習慣病予防教室、COPD予防教室、定例健康相談、広報・HP等の情報発信、健康増進ルーム、総合型地域スポーツクラブ

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

乳幼児期／青年期

●喫煙や飲酒について正しい知識を身につけ、未成年の喫煙や受動喫煙、飲酒を避けよう。

成人期／高齢期

- 身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い、換気を心がけて、健康づくりに取り組もう。
- 日常生活の中で歩数を増やし、エレベーターより階段、車より自転車を使うなどして意識的に身体を動かす機会を増やそう。
- 喫煙や飲酒について正しい知識を身につけ、禁煙や受動喫煙の防止、節酒に取り組もう。
- 休養や睡眠について正しい知識を身につけ、質のよい睡眠がとれるようにしよう。

施策の
方向性

2

社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

具体的な取り組み

①こころの健康の普及啓発と支援の充実

主な事業

こころの健康教室、こころの相談、教育相談、福祉相談

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

青年期／成人期／高齢期

- ストレスやこころの健康について正しい知識を身につけ、ストレスをため込まず上手に付き合おう。
- 自身や周囲の人のこころの健康に目を向けよう。
- こころの不調に気づいたら、身近な人や市の相談窓口、SNS相談などに相談したり、医療機関を受診するなどして、早期に支援を受けよう。

②幼児期から健康的な生活習慣を身に
つけられるような情報提供と支援の充実

幼児健康診査、小児生活習慣病検査事業、学校における保健衛生教育、子どもの定期予防接種

乳幼児期

- 早寝早起き朝ごはんを心がけよう。
- 3食バランスよく食べ、外で楽しく体を動かそう。

青年期

- 自分に合った運動を見つけて、体力づくり・骨密度アップにつなげよう。
- 日頃から階段を使ったり、こまめに歩く習慣を身につけよう。
- バランスのよい食事と運動で健康的な体重管理を心がけよう。
- 早起きと規則正しい生活で体内時計のリズムを保とう。

成人期

- 保護者は、子どもが健康的な生活習慣を身につけられるよう配慮しよう。
- 保護者は、子どもの予防接種の必要性や受け方を理解し、適切な時期に予防接種を受けさせよう。

具体的な取り組み

③高齢者が自立して生活するため、成人期と高齢期の介護予防と健康づくりの充実

主な事業

後期高齢者健康診査、ロコモティブシンドローム予防事業、高齢者の定期予防接種

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

成人期／高齢期

- 健康診査やがん検診を積極的に受けて健康管理をしよう。
- 市が行う健康教室や介護予防教室に参加しよう。
- 運動とバランスのよい食事でロコモティブシンドロームを予防しよう。
- 普段の生活で意識的に身体を動かそう。
- 地域での活動やサークル活動に参加しよう。
- 予防接種を受けるなど、感染症の予防に努めよう。

つなげる健康づくり



自分が考える健康な姿をイメージし、いつまでもいきいきと元気に過ごせるように、みんなで予防や改善に取り組んでいきます。

施策の
方向性

3

生活習慣病の発症予防と重症化の予防

具体的な取り組み

①生活習慣病の発症や重症化を予防する取り組みの充実

主な事業

特定健康診査、がん検診（肺がん、胃がん、**大腸がん**、**乳がん**、子宮頸がん、前立腺がん）、特定保健指導

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

青年期

●がんやがん予防のための生活習慣に関する正しい知識を持とう。

成人期／高齢期

- 年に1回健康診査とがん検診を受診しよう。
- 健(検)診結果で異常が認められた場合は、速やかに医療機関を受診しよう。
- 健康診査の結果を日々の生活習慣の改善に活用しよう。
- 治療中の病気がある人は、治療を継続しよう。
- COPDの言葉や意味、予防方法を理解し、禁煙に取り組もう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。

施策の
方向性

4

健康を支え、守るための社会環境の整備

具体的な取り組み

①地域における支え合いや、地域での活動を通じた健康づくりなど、子どもから高齢者までがいきいきと暮らせる地域づくりの推進

②市民の健康づくりを支援する体制の充実

主な事業

子育て支援の情報提供、高齢者の居場所や交流の場づくり、地域の健康づくり

災害に関する普及啓発（妊産婦等）、救急医療体制に関する情報提供、新型インフルエンザ等対策事業

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

青年期／成人期／高齢期

- 自分の住んでいる地域で行われている活動や交流の機会を知り、積極的に参加しよう。
- 自治会活動などに参加して、近隣の人との交流を深め、お互いに助け合える関係をつくろう。
- 健康教育で入手した情報を理解し、健康づくりに取り組もう。

乳幼児期／青年期

- 妊産婦、乳幼児が家庭にいる場合は、特に必要な災害時物品を準備しておこう。
- 手洗いなど感染症予防行動を実行しよう。

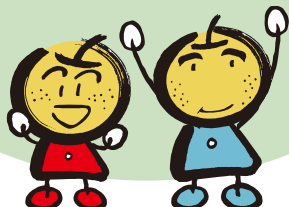
成人期／高齢期

- 必要な時に医療機関の情報を入手する方法を知ろう。
- 感染症に関する情報を把握し、予防に努めよう。

私の健康宣言のヒント

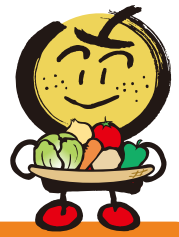
- ◎1日20分、早歩きをする。
- ◎週に3回ストレッチをする。
- ◎ストレス解消法(リラクゼーション・十分な睡眠)を実践する。
- ◎地域コミュニティと関わりを持つ。

私の健康宣言をヒントに



私の健康宣言

食育推進計画

施策の
方向性

1

食と健康づくりの推進

具体的な取り組み

①生涯にわたるライフステージに応じた食育の推進

②食育による生活習慣病の予防及び改善

主な事業

販売店やSNS等を活用した情報発信、保育園・学校での食育推進事業、
幼児健康診査、各種料理等の教室事業、介護予防講座健診会場での啓発、生活習慣病予防教室、
各種料理等の教室事業、特定保健指導市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

乳幼児期

●生活リズムを整え、成長発達に応じたバランスのよい食事ができるようにしよう。

青年期

●生活リズムを整え、野菜を食べることの大切さとバランスのよい食生活について理解し、実践しよう。

成人期

●自身や家族のために野菜を取り入れたバランスのよい食生活について理解し、実践しよう。

●大規模災害用に個人に合った備蓄食料等を備え、平常時から定期的に活用しよう。

高齢期

●バランスのよい食生活を理解し、個人に合った食べ方を実践しよう。

●大規模災害用に個人に合った備蓄食料等を備え、平常時から定期的に活用しよう。

乳幼児期

●成長発達に応じ、さまざまな食品を食べ慣れることで偏りなく、よく噛んで食べられるようにしよう。

青年期

●よく噛んで食べるようにしよう。

●自分の体と食生活のかかわりについて理解し、適切な食事や間食のとり方を実践しよう。

成人期

●ゆっくりよく噛んで食べることによって食べ過ぎを防ぎ、適正体重を維持できるようにしよう。

●栄養成分表示を活用し、食塩・脂肪・糖質のとりすぎに注意した健康的な食生活について理解し、実践しよう。

高齢期

●ゆっくりよく噛むことを心がけて食事をしよう。

●自らの健康を意識しながら、個人に合った食生活を実践しよう。

●フレイル予防のため、たんぱく質を多く含む食品など、多様な食品を組み合わせた食事をしよう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。

施策の
方向性

2

食を通じたコミュニケーション

具体的な取り組み

①食を通じたコミュニケーションの推進

②食の循環や環境を意識した食育の推進

主な事業

保育園・学校での食育啓発、給食事業、
なるほど行政講座白井産農産物のレシピ啓発、地産地消応援店舗事業、しろいの
直売所マップ啓発事業、食品ロスの削減に関する講座、給食事業市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

乳幼児期

●家族や仲間と一緒に食べることを楽しさを実感しよう。
●食事の前で「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶の習慣をつけよう。

青年期

●家族や仲間と一緒に食べることを楽しさを実感し、食事の準備などの手伝いや料理に携わり、食への関心を高めよう。
●食事の前で「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をすることで、食への感謝の気持ちを表そう。
●日本食に親しみをもち、日本の食文化や季節感を味わおう。

成人期／高齢期

●共食の意味を理解し、家族や仲間と一緒に食事をする機会を増やそう。
●家庭の食事に行事食を取り入れ、日本の食文化や季節感を味わおう。
●日本食や地域の伝統的な食文化を大切に、次世代に伝えよう。

事業所など

●イベントの開催や体験教室などを通して農産物の紹介や地産地消の推進に努めます。
●食品の製造から廃棄に至るまでの過程を見直し、食品ロスの削減に努めます。

乳幼児期／青年期

●地元の農業や農産物について関心を持とう。
●生産者をはじめ、多くの関係者により食が支えられていることを理解し、食への感謝と「もったいない」という気持ちを育もう。

成人期／高齢期

●千葉県や白井の農産物について関心を持ち、なるべく地元農産物を購入しよう。
●地域で行われる農業体験や食育に関するイベントなどに積極的に参加しよう。
●食品ロスが環境へ大きな負担をかけていることを理解し、食べ物を購入・調理するときや食事のときは、食品ロスの削減に努めよう。



コミュニケーションを大切にし、心にも体にも健康的でおいしい食事がとれるように、みんなで取り組んでいきます。

施策の
方向性

3

食育を推進するための食環境の整備

具体的な取り組み

①食育に関わる人材育成とネットワークづくり

②まちをあげた食育推進の取り組み

主な事業

食生活改善推進員活動事業、栄養士連絡会、他職種との連携、関係団体・機関との連携

しろい食育サポート店事業、食環境整備事業、食の安全への取り組み事業

市民の皆様への
提案
～こんなことから
やってみよう！～

関係団体・機関など

●市やさまざまな連携を通して、食育活動を積極的に推進します。

乳幼児期／青年期／成人期／高齢期

●食に関心を持ち、食育について理解し、市などが実施する食育活動に積極的に参加しよう。

飲食店や商店

●健康的なメニューを取り入れます。
●食品の安全性の確保を行います。

しろい食育サポート店

●市が提供する食生活に関する情報資料等を店舗に設置し、食育に関する啓発に協力します。
●健康的なメニューの提供やヘルシーオーダーに対応し、まちをあげた食育の推進に協力します。

地産地消応援店舗

●白井産農産物の販売や白井産農産物を使ったメニューを提供し、地産地消の推進に協力します。

乳幼児期／青年期

●食に興味を持ち、大切にしよう。

成人期／高齢期

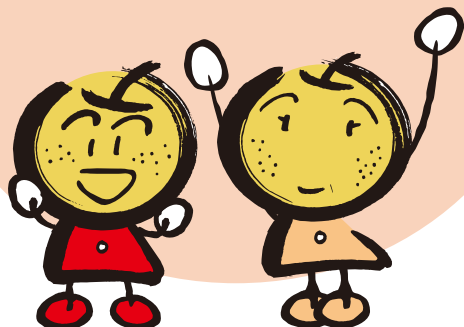
●食に関する正しい情報を取り入れよう。
●食の安全と安心の確保について、自ら学び、理解を深め食生活に取り入れよう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。

私の健康宣言のヒント

- ◎3食バランスよく食べる。
- ◎減塩や薄味を心がける。
- ◎おやつの食べ方を工夫する。
- ◎ゆっくり、よく噛んで食べる。

ヒントを参考に私の健康宣言をしよう



私の健康宣言

歯科口腔保健推進計画



施策の方向性

1

歯科口腔保健の意識と生活習慣の改善

具体的な取り組み

①歯科口腔保健の正しい知識の普及

②自ら進んで歯科口腔保健に関心を持ち、むし歯や歯周病予防に取り組む意識の向上

主な事業

幼児健康診査、保育園歯科保健指導、イベントにおける歯科健康教育、なるほど行政講座

プレ☆パパママスクール、児童生徒の歯科保健指導、子育て支援センターすこやか相談、よい歯・標語コンクール、むし歯予防作品展

市民の皆様への提案
～こんなことからやってみよう！～

乳幼児期／青年期

- むし歯予防を意識した歯みがきの方法を知ろう。
- 大人による毎日の仕上げみがきの大切さを知ろう。
- 間食としての甘味飲料・食品を1日に2回以下にしよう。
- フッ化物利用によるむし歯予防について理解しよう。

乳幼児期／青年期

- 歯や歯肉など、口の中をよく観察しよう。
- 毎食後の歯みがきを実行しよう。
- おやつは時間と量を決めて食べるようにしよう。
- デンタルフロスや歯間ブラシを使用しよう。
- 「歯・口の健康啓発標語コンクール」、「むし歯予防作品展」に応募しよう。

成人期／高齢期

- 8020（ハマル・イマル）、8029（ハマル・ニク）をめざして取り組もう。
- むし歯や歯周病予防の大切さについて理解しよう。
- 生涯おいしく食べるために歯と口腔の健康が大切であることを理解しよう。

成人期／高齢期

- 歯と口の健康に関心を持ち、意識的に口の中をみるようにしよう。
- デンタルフロスや歯間ブラシを使用しよう。
- 間食をとり過ぎないようにしよう。
- 「歯・口の健康啓発標語コンクール」に応募しよう。

施策の方向性

2

歯科疾患の予防

具体的な取り組み

①生涯を通じた歯科疾患重症化予防に対する取り組みの強化

②歯科疾患と全身の健康のかかわりについての普及啓発

主な事業

妊婦歯科健康診査、こども発達センター歯科健康診査、歯周疾患検診

生活習慣病予防教室「歯周病予防」、「歯と口の健康週間」「いい歯の日」普及啓発

市民の皆様への提案
～こんなことからやってみよう！～

乳幼児期／青年期

- 定期的なフッ化物歯面塗布や、フッ化物配合歯みがき剤を使用しよう。
- 歯科健康診査で要受診となった場合には早期に歯科医院を受診しよう。
- 小学校低学年までは保護者が仕上げみがきをしよう。

乳幼児期／青年期

- 多数歯むし歯・歯周病と全身の健康のかかわりについて理解しよう。

成人期／高齢期

- 日常の歯みがきの積極的な取り組みや、かかりつけ歯科医を持つ。
- 妊娠中に歯科健康診査を受診しよう。
- 歯周疾患検診を受診しよう。
- 歯周病と喫煙の関係を理解し、禁煙と生活習慣の改善に取り組もう。

成人期／高齢期

- 歯周病と全身の健康（誤嚥性肺炎・糖尿病・早産など）のかかわりについて理解しよう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。

施策の方向性

3

生活の質の向上に向けた口腔機能の維持獲得

具体的な取り組み

①生涯を通じてよく噛んで食べることや、口腔機能の向上に向けた歯の喪失防止の取り組みの充実

主な事業

幼児健康診査、後期高齢者歯科口腔健康診査、かみかみ教室、いきいき夢情報教室（通いの場における口腔ケア教室【新規】）、児童の食に関する指導

市民の皆様への提案
～こんなことからやってみよう！～

乳幼児期／青年期

- よく噛んで食べる大切さを学び、意識して実践しよう。
- 口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。

乳幼児期／青年期

- よく噛んで食べる大切さを学び、意識して実践しよう。
- 口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。

成人期／高齢期

- よく噛んで食べることを意識して実践しよう。
- 口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。
- 歯の喪失を予防し、噛んで食べられる口腔機能を維持しよう。
- いきいき夢教室（通いの場における口腔ケア教室）に参加しよう。

成人期／高齢期

- よく噛んで食べることを意識して実践しよう。
- 口の体操など、口腔機能の維持向上のためのセルフケアを実践しよう。
- 歯の喪失を予防し、噛んで食べられる口腔機能を維持しよう。
- いきいき夢教室（通いの場における口腔ケア教室）に参加しよう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。



生涯食事をおいしく食べ、はつらつとした生活が送れるように、みんなで歯と口の健康づくりに取り組んでいきます。

施策の
方向性

4

定期的に歯科健診または歯科医療を受けることが困難な人に対する歯科口腔保健

具体的な取り組み	①障がいのある人、介護を必要とする人などへの適切な歯科口腔保健の提供	②障がいのある人、介護を必要とする人などに対する歯科医療情報の提供の充実
主な事業	こども発達センター歯科健康診査、 なるほど行政講座、歯っぴいスマイル講座	電話・来所相談、介護施設などとの連携事業、 在宅歯科サービス提供施設の情報提供
市民の皆様への 提案 ～こんなことから やってみよう！～	施設・施設担当者 - 定期的に歯科健診が受けられる体制を整備します。 - 口腔ケアの技術を習得します。	介護施設などの施設関係者 - 歯科医院に通院困難な人に対し、歯科訪問診療(在宅医療)などの歯科医療情報を把握します。 障がいのある人／介護を必要とする人 - 歯科医療情報を得てかかりつけ歯科医を見つけよう。 - 疾病の早期発見のために定期歯科健診が必要であることを理解し実践しよう。 - 毎日の歯みがきを継続しよう(家族支援含む)。

施策の
方向性

5

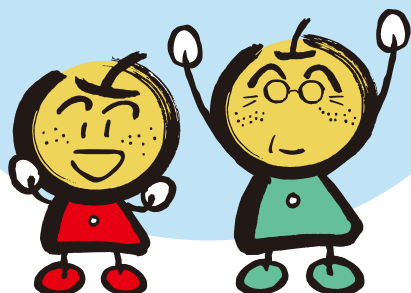
歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備

具体的な取り組み	①定期歯科健診受診率向上に向けた取り組みの充実	②歯科口腔保健の推進に関する連携体制の構築
主な事業	ホームページやSNSを活用した歯科保健指導 かかりつけ歯科医の普及推進	歯科口腔保健推進ボランティア育成、庁内健康 づくり推進会議、保健衛生事業計画歯科医師会議
市民の皆様への 提案 ～こんなことから やってみよう！～	乳幼児期／青年期／成人期／高齢期 家族一人ひとりがかかりつけ歯科医を持ち、定期的に 歯科健診を受診しよう。	乳幼児期／青年期／成人期／高齢期 - 歯科口腔保健推進ボランティアに参画しよう。 「歯と口の健康週間」や「いい歯の日」を理解し、歯みが きなどに意識的に取り組もう。 「歯と口の健康週間普及標語」に応募しよう。 - 大規模災害用に口腔ケアグッズを備えておこう。

※主な事業で、下線を付して太字で表している事業は、重点的取り組みです。

私の健康宣言のヒント

- ◎意識して丁寧に歯を
みがくようにする。
- ◎歯みがきの回数を今よりも増やす。
- ◎かかりつけ歯科医をもち、
定期的に歯科健診に行く。



ヒントを参考に私の健康宣言をしよう

私の健康宣言



健康増進計画

目 標 項 目		めざそう値	目 標 項 目		めざそう値
望ましい生活習慣 獲得のための 情報提供及び 行動化を促す 取り組みの強化	運動を週2回以上している人の割合の増加(20歳以上)	50%以上	幼児期から健康的な 生活習慣を身に つけられるような 情報提供と支援の充実	授業以外の部活動や習いごとで運動をしている 子どもの割合の増加(週4日以上)	小学生23%以上
	適正飲酒量を知っている人の割合の増加(20歳以上)	55%以上		授業以外で運動(部活動を含む)をしている 子どもの割合の増加(週4日以上)	高校生48%以上
	たばこを吸っている人の割合の減少(20歳以上)	10%以下		午後10時以降に就寝する小学生の割合の減少	20%以下
	睡眠がとれていない人(あまりとれていない、 まったくとれていない)の割合の減少(20歳以上)	25%以下	高齢者が自立して 生活するため、成人期と 高齢期の介護予防と 健康づくりの充実	ロコモティブシンドロームの言葉と意味を 知っている人の割合の増加(20歳以上)	65%以上
	BMI値が25以上(肥満)の人の割合の減少 (20歳以上)	男性28%以下 女性15%以下		65歳以上で地域でスポーツ・趣味・娯楽活動 をする人の割合の増加	40%以上
	過去1年間に歯科健診を受診した人の 割合の増加(20歳以上)	60%以上	生活習慣病の発症や 重症化を予防する 取り組みの充実	精密検査受診率が90%以上のがん検診(国推奨5大検診)	5検診
こころの健康の 普及啓発と支援の充実	毎日の生活に充実感がない人の割合の減少 (20歳以上)	10%以下		糖代謝検査項目が要医療の者のうち、 次年度改善者(特定健康診査)	48%以上
	家族以外に、自分の健康に関する悩みや不安を 相談できる人がいる人の割合の増加(20歳以上)	70%以上		COPDの認知度の向上(20歳以上)	70%以上
	ゲートキーパー(命の門番)の言葉と意味を 知っている人の割合の増加(20歳以上)	33%以上	地域における支え合いや、 地域での活動を通じた健康づくりなど、 子どもから高齢者までがいいきいきと 暮らせる地域づくりの推進	地域の人たちとの つながりが強いと思う 人の割合の増加 (20歳以上)	30%以上

食育推進計画

目 標 項 目		めざそう値	目 標 項 目		めざそう値
生涯にわたるライフ ステージに応じた 食育の推進	1日に主食・主菜・副菜の3つを揃えて食べる回数 が2回以上の割合の増加(高校生・20歳以上)	高校生80%以上 成人70%以上	食を通じた コミュニケーションの 推進	家族と一緒に食事をとる回数の増加 (20歳以上)[朝食+夕食]	週10回以上
	苦手な食べ物(野菜等)でも食べられる子どもの 割合の増加(小学生・中学生)	小学生50%以上 中学生45%以上		食事の手伝いをいつも、時々している 子どもの割合の増加(小学生)	60%以上
	1日に野菜料理を5皿以上食べる人の 割合の増加(20歳以上)	15%以上		日本食や地域の伝統的な料理を食べる人の 割合の増加(20歳以上)	50%以上
	3食必ず食べることに気をつけている人の 割合の増加(30歳代~40歳代)	65%以上	食の循環や 環境を意識した 食育の推進	農作物を購入時、千葉県産、または白井産を選ぶ 割合の増加(20歳以上)	45%以上
食育による 生活習慣病の 予防及び改善	よく噛んで食べている子どもの 割合の増加(小学生・中学生)	小学生70%以上 中学生60%以上		学校給食への地元農産物の利用品目数の維持	14品目以上
	BMI値が25以上(肥満)の人の 割合の減少(20歳以上)	男性28%以下 女性15%以下		食事を残したときに「もったいない」と思う 子どもの割合の増加(小学生・中学生)	93%以上
	減塩や薄味を心がけている人の 割合の増加(20歳以上)	65%以上	食育に関わる 人材育成と ネットワークづくり	食品ロスの削減を心がける人の 割合の増加(20歳以上)	80%以上
				食育について連携する 関係団体・機関の数の増加	9団体

歯科口腔保健推進計画

目 標 項 目		めざそう値	目 標 項 目		めざそう値
歯科口腔保健の 正しい知識の普及	8020運動の言葉と意味がわかる人の 割合の増加(20歳以上)	50%以上	歯科疾患と全身の 健康のかかわりに についての普及啓発	中学1年生で歯肉に炎症所見を有する人の 割合の減少	19%以下
	1歳6か月児で間食として甘味食品・飲料を 1日3回以上飲食する習慣を持つ人の割合の減少	5%以下		40歳で進行した歯周炎を有する人の 割合の減少	7%以下
自ら進んで 歯科口腔保健に関心を 持ち、むし歯や歯周病 予防に取り組む意識の 向上	高校1年生の昼食後の歯みがき実施生徒の 割合の増加	20%以上	生涯を通じてよく 噛んで食べることや、 口腔機能の向上に 向けた歯の喪失防止の 取り組みの充実	3歳児でよく噛んで食べていると思う保護者の 割合の増加	93%以上
	デンタルフロスや歯間ブラシを使用する人の 割合の増加(20歳以上)	70%以上		中学1年生、高校1年生でよく噛んで食べている と思う生徒の割合の増加	60%以上
	1歳6か月児で毎日保護者が仕上げみがきをする 習慣のある人の割合の増加	93%以上		硬い食べ物でも普通に噛んで食べることができる 人の割合の増加(20歳以上)	65%以上
生涯を通じて 歯科疾患重症化予防に 対する取り組みの強化	3歳児でむし歯のない人の割合の増加	90%以上	障がいのある人、介護を 必要とする人などに 対する歯科医療情報の 提供の充実	市内で在宅歯科サービスを提供する 施設数の増加	16施設以上
	12歳児のむし歯の本数の減少	0.7本以下		過去1年間に歯科健診を受診した人の 割合の増加(20歳以上)	60%以上
	60歳で未処置歯を有する人の割合の減少	25%以下		かかりつけ歯科医がある人の 割合の増加(20歳以上)	70%以上

第3次しろい健康プラン

概要版

令和3年6月

白井市役所



健康子ども部 健康課

〒270-1492 千葉県白井市復1123

TEL:047(492)1111(代表)

市ホームページ <https://www.city.shiroi.chiba.jp/>

